

三年ぶりの総会開催

一回カ禍を越えて



第35号

発行日

令和5年3月1日

発行・編集

秀芳会

県立水戸第二高等学校同窓会

茨城県水戸市大町2-2-14

☎029(224)2543(代)

印刷所 (株)あけぼの印刷社

☎029(227)5505(代)

令和四年五月二十五日、三年ぶりの秀芳会総会が開催された。二・三年度は、コロナ感染防止のために書面表決となったが、この日、常任幹事・支部長会を総会として実施する運びとなった。世情の変化に対応した新しい試みとしての総会は、通常の総会に比して少人数の参加ではあったが、熱い思いに充ちた総会であった。

「総会を開きたい」皆様の「遠方よりお集り頂き誠にありがとうございました。このデジタルサにお会いして親睦を深め、に有り難い。総会が開催で、母校の発展を喜び合いたい」と願いつつも、コロナ禍での開催が叶わず、早三年。本年度も通常総会の開催は困難と判断しましたが、可能な方法を模索した結果、「常



秀芳会館での総会

「秀芳会顧問として伝統を引き継ぐ重責を感じる。水戸二高の発展と生徒たちの未来のためにご支援ご協力をお願いしたい。」との挨拶を頂き、学校と秀芳会の更なる連携に期待が高まりました。校長先生は大型のデジタルサイネージを駆使して、学校の教育目標や活動の様子をご説明くださいました。実に鮮やかな画面の中で躍動する生徒の皆さんの姿に参会者一同魅了されました。

五月二十五日(水)、当日もコロナ感染をどこまで防止できるかという不安がよぎる中、お一人、お一人、またお一人と秀芳会館にお姿が。マスク越しに「やっ」とお会いできましたね。と再会の喜びの言葉があらこちらで交わされ、秀芳会館は一気に活力で満たされました。



校長挨拶

総会は、期待を込めた開会の言葉に続き、狩野会長

議事では、①令和三年度事業報告、②令和三年度一般会計・特別会計・監査報告、③令和四年度事業計画案、④令和四年度予算案が全て承認されました。生徒支援として弓道部・文芸部・書道部・放送部の全国大会出場報告があり、コロナ禍にありながら、生徒の皆さんが活躍されたことに感謝した次第です。



退任される方々

「同一敬意を表し、尊い歴史のバトンを身の引き締まる思いで受け取りました。その他での協議で、「支部長の方への交通費の支給」への提案がありました。その理由は遠方からの出席であること、会議の内容を支部で報告する仕事が多いこと等です。この提案は役員会協議の上、第二回常任幹事・支部長会で審議することになりました。(※十月十九日に予算化決定)

次に、令和五年度の総会開催について、勝田支部長山田久美様より「三年前から、楽しい企画で皆様をお待ちしている。どうぞご出席を！」とお誘いがありました。最後に新役員紹介があり、来年度こそ、歓喜と感動に満ち溢れた通常総会が開催されることを切望し、総会が終了しました。

リダとして活躍してくる素地になるものと確信しております。そしてそれは何より、水戸二高の長い歴史と伝統によって形づくられてきたものに他なりません。

お知らせ
令和5年度 秀芳会総会
期日 令和5年5月21日(日)
場所 ホテルクリスタルパレス長寿荘
担当 勝田支部

感謝

—前会長狩野安様
のお言葉より—



「絆」をあげ、「秀芳会」の間はいつも「一緒」と特に「絆」を強調されました。◆「十八歳で投票」を取り上げられたときは、「投票の機会を無駄にしないで、新しい日本のために、信じられる政治家を創っていくことを真剣に考えて欲しい」と、元国会議員として活躍されたお立場から呼びかけられました。

◆令和へと元号が変わり、平成二十年のご就任に当たっては、「秀芳会」が充実すること、在学生の意識向上につながり、ひいては母校が発展すること、能力を育んだ創立百二十周年記念式典に当たっては、「社会情勢の変化に対応しながら、時代に必要とされる教育を実践し、多くの優秀な人材は勿論、家庭においても素晴らしい母親像を創り出し、進歩しても大自然の脅威には及ばないことが教訓として残った」と述べられ、私達が生きていく上で大切なものとして、「青春時代の思い出」「変わらぬ友情」ございました。(文責 鯨岡)

令和四年は、コロナ禍の新入生や学習する姿・文化部・運動部の活動が次々に展開、母校のますます明るい未来を感じました。



微力ながら
努力を
秀芳会会長
山口恵子

秀芳会員の皆さまにおかれましては、日頃より本校教育に對しましてご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。



歴史と伝統が
息づく水戸二高
校長 渡邊 政美

令和四年は、コロナ禍の新入生や学習する姿・文化部・運動部の活動が次々に展開、母校のますます明るい未来を感じました。

このように、秀芳会の皆さまの「習性・愛・創造」があり、ご協力のおかげで、令和五年度の総会開催が実現しました。

村山隆治

から垂らした。大きさを担保するには数倍の知恵が必要ことにあの時の経験が生きた。

今では多くの高校でクラスシャツを作るの

かれたレールをはみ出すパワーが合格に繋がったように、一見寄りのようだった

’04 神無祭、校門



'98 巨大壁画の
制作の様子

神田 真紅（田中 真弓 平成 13 卒）



大畠 孝子 (昭和 46 卒)



知った」といふ若い方も
多いのではないかと思う
のですが……。

歴史好きが高じて
二〇〇九年に講談師の神
田紅(くれなゐ)に入門
ちのけで日本の歴史ある
ちと文豪や人気作につい
て談義したりと、勉強そつ
には図書委員会の仲間た
弓の上達に励み、昼休み
と塾へ入れなかに仲間と



主大議登究の師にえ

ていて、戸をばをやる時等に経験として、り手か少なかつたために、レンジをしておられます。そろそろ来年には真打の話しも多いし、狂盛り込んだりしておりま多々の講談が埋もれてしまつております。(茨城出身進という話も出て参りましたところ、何卒、応援のほどお願いできますれば幸いです。



2022 年 11 月に実施された保育者
(教頭・主任) 研修会でのひとコマ

「感謝」
三年三組 菅田 美波

私たちの高校生活は同級生の顔の半分が常に見えない状態で、同じクラスの子の顔も声もわからないまま一ヶ月の自粛生活から始まりました。今までの高校生が当たり前に過ぎてきた日々とは明らかに異なる三年間は、制限がある中でも生徒が楽しめるようにと毎日額を集めていました。委員会や部活動でも先生方は私たちに強い力添えをしてくださいました。

この水戸二高での三年間は他愛もない会話で溢れる何気ない日常の大切さや私たちが支えてくれている人の存在に気づくための必要不可欠な時間だったと思います。

コロナ禍でも前向きな気持ちで多くの素晴らしい経験ができたのは、秀芳会の

在校生の活躍
令和四年度
関東・全国大会出場一覧
陸上競技部

○関東高等学校陸上競技大会
4×100mリレー・4×400mリレー・400m・走幅跳・三段跳出場
○関東陸上競技選手権大会
走幅跳・三段跳出場
○関東陸上競技選手権大会
走幅跳・三段跳出場

弓道部
○関東高等学校弓道個人選手権大会
準決勝進出
○全国高等学校弓道選抜大会
団体5位
なぎなた部
○全国高等学校総合体育大会なぎなた競技大会
団体・個人の部出場
○関東高等学校なぎなた競技大会
団体・個人の部出場
○関東地区高校放送コンクールアナウンス部門・朗読部門出場

書道部
○国際高校生選抜書展
入選
写真部
○全国高等学校総合文化祭出場
○全国高等学校総合文化祭文芸部部門・短歌部門出場
○関東地区高校生文芸大会出場
SSH
○JSEC 高校生・高専生科学技術チャレンジ 優秀賞
○坊ちゃん科学賞 優良入賞
○「科学の芽」賞 努力賞

SSH生徒研究発表会
私たちは令和四年八月三日、四日に神戸で行われたSSH生徒研究発表会に参加しました。

全国の高校生の発表を聞き、専門の方々からのご助言を頂いたりする中で、新たな視点や気づきを得ることが出来ました。

SSHでの研究活動という貴重な経験は、私たちが社会人になったときにも役立つものであり、高校生の

SSH生徒研究発表会
私たちは令和四年八月三日、四日に神戸で行われたSSH生徒研究発表会に参加しました。

全国の高校生の発表を聞き、専門の方々からのご助言を頂いたりする中で、新たな視点や気づきを得ることが出来ました。

SSHでの研究活動という貴重な経験は、私たちが社会人になったときにも役立つものであり、高校生の

SSH生徒研究発表会
私たちは令和四年八月三日、四日に神戸で行われたSSH生徒研究発表会に参加しました。

全国の高校生の発表を聞き、専門の方々からのご助言を頂いたりする中で、新たな視点や気づきを得ることが出来ました。

SSHでの研究活動という貴重な経験は、私たちが社会人になったときにも役立つものであり、高校生の

編集後記
小坪のり子(昭和62卒)
「徳川齊昭と水戸弘道館」

編集に携わり三年目、ウィズコロナも三年経ち、マスク生活の終わりを告げる報道がされ始めています。会員の皆様の日常も戻りつつも新たな生活様式に変化されているのでしょうか。五月の総会では皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

第三十五号の発行にあたり、寄稿下さった皆様、心より感謝申し上げます。

青木由佳・梅原洋子・栗原幸子・齋藤由美子・栗原幸子・高安明美・萩谷和子・水谷晴佳・三宅理恵・村田千鶴(五十音順)

体育祭

2022.9.14.
リリーアリーナMITO



体育祭実行委員長 神山 彩香

三年に一度の体育祭を無事に終えることができ、今はほっとしています。Withコロナでの開催ということで、種目やルールを一部変更したり、七月の開催を目前に延期が決まったりと、無事に開催できるのか、不安になることもたくさんありました。しかし、実行委員で何度も話し合いと準備を重ね、みんなで協力して本番を迎えることができました。

当日、特に盛り上がった種目は、Make up tennisとリレーでした。Make up tennisは、新種目で、準備は大変でしたが、順位争いだけでなく、先生方の仮装でもとても盛り上がり、リレーは、各団の精鋭による最終決戦で、熱い戦いを見せてくれました。

この体育祭では、今まで新型コロナウイルス感染症の影響により難しかった、学年を超えた交流ができ、二高全体が一つになったと感じました。最後に、先生方、体育祭実行委員、体育委員、生徒会、生徒の皆さん、本当にありがとうございました。

進路指導主事 片根 満保

日頃より本校の進路指導は延べ七五〇名、専門学校にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。令和三年卒業生の進路結果(令和四年度入試)についてご報告します。

前年度から続く新型コロナウイルスの影響で、世間の受験生が萎縮する中、本日の合格者がありました。在校生は、積極的に挑戦する姿が目立ちました。

国公立大学の現役合格者は一七名で、七年連続で現役合格者百名を超えました。私立大学の現役合格者はいちます。

インターハイに出場して
なぎなた部 吉井 静香

私たちは、茨城県大会で、団体優勝、個人優勝、2位、3位入賞を果たし、8月にインターハイの舞台に立ち、香川県で行われたインターハイに出場することができました。これだけできなく、一つのことに向き合い努力すること、大切さを学びました。練習はありましたが、日々練習できることに感謝し、チームに必要なことややるべきことを何度も話し合いながら、練習に励み、インターハイに出場できるチームに育ててくださった先生をはじめ、サポートしてくれた家族や応援して下さいました。これからのなぎなたを通して学んだことを大切に、目標に向かって頑張りたいです。

令和四年度入試結果 (令和3年度卒業生)

NO	国公立大学・大学校	現役	既卒	計
1	北教大札幌校	1	1	2
2	弘前大	1	1	2
3	東北大	2	2	4
4	山形大	1	1	2
5	福島大	1	1	2
6	茨城大	61	1	62
7	筑波大	5	5	10
8	宇都宮大	4	4	8
9	埼玉大	2	2	4
10	千葉大	1	1	2
11	東京外大	2	2	4
12	金沢大	2	2	4
13	信州大	2	2	4
14	奈良教育大	1	1	2
15	札幌市立大	1	1	2
16	宮城大	1	1	2
17	国際教養大	1	1	2
18	会津大	1	1	2
19	福島県立医大	2	2	4
20	茨城県立医大	17	1	18
21	群馬県立女子大	5	5	10
22	神奈川保福大	2	2	4
23	川崎市立看護大	1	1	2
24	横浜市立大	3	3	6
25	新潟県立大	4	4	8
26	長岡造形大	1	1	2
27	山梨県立大	4	4	8
28	都留文科大	1	1	2
29	長野大	1	1	2
30	岐阜県立大	1	1	2
31	静岡県立大	1	1	2
32	神戸市外大	1	1	2
33	奈良県立医大	1	1	2
34	山口県立大	1	1	2
35	北九州市立大	1	1	2
合計		137	2	139

NO	私立大学	現役	既卒	計
1	早稲田大	2	2	4
2	上智大	2	2	4
3	東京理科大	1	1	2
4	明治大	3	3	6
5	青山学院大	7	1	8
6	立教大	10	10	20
7	中央大	5	1	6
8	法政大	12	2	14
9	学習院大	6	6	12
10	関西学院大	3	3	6
11	立命館大	2	2	4
12	津田塾大	6	1	7
13	東京女子大	16	1	17
14	日本女子大	16	1	17
15	成城大	5	1	6
16	明治学院大	12	1	13
17	獨協大	21	21	42
18	國學院大	5	5	10
19	東京農大	5	5	10
20	北里大	2	2	4
21	明治薬大	2	2	4
22	日本大	9	9	18
23	東洋大	36	36	72
24	駒澤大	15	15	30
25	専修大	19	19	38
26	神奈川大	15	15	30
27	文教大	15	15	30
28	千葉工大	36	36	72
29	東京家政大	4	4	8
30	昭和女子大	10	10	20
31	共立女子大	7	7	14
32	大妻女子大	9	2	11
33	フェリス学院大	7	7	14
34	国際医療福祉大	25	25	50
35	茨城キリスト大	109	109	218
36	常盤大	63	63	126
37	自治医科大	1	1	2
その他		227	6	233
合計		750	20	770

寄贈本
小坪のり子(昭和62卒)
「徳川齊昭と水戸弘道館」

編集に携わり三年目、ウィズコロナも三年経ち、マスク生活の終わりを告げる報道がされ始めています。会員の皆様の日常も戻りつつも新たな生活様式に変化されているのでしょうか。五月の総会では皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

編集後記
小坪のり子(昭和62卒)
「徳川齊昭と水戸弘道館」

編集に携わり三年目、ウィズコロナも三年経ち、マスク生活の終わりを告げる報道がされ始めています。会員の皆様の日常も戻りつつも新たな生活様式に変化されているのでしょうか。五月の総会では皆様にお会いできるのを楽しみにしております。